

事務事業名	芦安交流促進センター管理事業		所属部局	農林商工部		単位番号	6001									
			所属課室	農林振興課		課長名	野田栄志									
	☐ 実施計画事業		所属担当	農政計画担当		担当者名	伊藤喜久夫									
基本政策	基本計画体系	Ⅱ にぎわいと活力あふれる都市づくり	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目						
政策		07 農林水産業の振興	事業区分	01	一般	0	6	0	1	0	2	0	5	0	1	0
施策		12 生産を支える基盤の整備充実		☐ 国の制度による義務的事業									☐ 施設等維持管理事業			
				☐ 県の制度による義務的事業									☐ 補助金交付事業			
				☐ 市の制度による義務的事業									☒ その他の事業			
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 年度) 期間限定複数年度 (年度)		法令根拠	南アルプス市芦安交流促進センター条例												
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載			事業費の主な内訳 (22年度)												
	・農林水産省の補助金で整備した施設の適切な管理と快適な利用環境の確保			項目(細節) 金額(千円) 項目(細節) 金額(千円)												
	・芦安交流促進センターふれあい館の管理運営を行なうための事務経費			消耗品費 25 施設維持管理委託 369												
				燃料費 67												
				光熱水費 1,202												
				修繕費 229												
			手数料 45 計 1,937													

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 活動	
22年度活動実績	条例に基づき、適切な管理及び施設利用受付と利用料の徴収
23年度活動予定	条例に基づき、適切な管理及び施設利用受付と利用料の徴収
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	
市民	
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	
快適な利用	
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	
適切な管理により、快適な利用環境の確保	

⇒ ⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 利用回数	回
イ 利用人数	人
ウ	
⇒ ⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 本市人口	人
イ	
ウ	
⇒ ⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 苦情件数	件
イ	
ウ	
⇒ ⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 利用者の満足度	%
イ	

(2) 事業費・指標の推移				単位	21年度 (決算・実績)	22年度 (決算見込・実績)	23年度 (予算・目標)	24年度 (次年度計画・目標)	25年度 (計画・目標)	26年度 (計画・目標)	最終 年度 (トータルコスト・目標)
年間 トータル コスト	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円							
			県支出金	千円							
			地方債	千円							
			その他	千円	7	12	1	1	1	1	
			一般財源	千円	1,899	1,925	1,857	2,238	2,238	2,238	
	事業費計 (A)			千円	1,906	1,937	1,858	2,239	2,239	2,239	0
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1	1	
		延べ業務時間	時間	240	240	240	240	240	240	240	
		人件費計 (B)	千円	1,071	1,071	951	951	951	951	951	0
	(A)+(B)			千円	2,977	3,008	2,809	3,190	3,190	3,190	0
活動指標		ア	回	53.0	63.0	56.0	53.0	53.0	53.0		
		イ	人	1,960.0	2,027.0	2,000.0	1,960.0	1,960.0	1,960.0		
対象指標		ア	人	74,146.0	73,014.0	73,014.0	74,170.0	74,124.0	74,124.0		
		イ									
成果指標		ア	件	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
		イ									
上位成果指標		ア	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0		
		イ									

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか？	平成9年度農林水産省の補助を受け、地域活性化を図るための施設として建設された。 平成10年4月から開設する。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか？また、今後の予測は？	合併後、市民を対象に施設開放を行い、条例に基づき直営にて施設管理を行っている。 利用状況は、芦安そばの会、フォークダンス部、芦安小中学校などの団体が利用している。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか？	特になし

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は？	☐ 取り組みしている ⇒【内容！】 ☒ 取り組みしていない ⇒【理由！】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	節電等経費の軽減に努めた。
③ H 22年度に実施した改革改善の内容	節電等経費の軽減に努めた。

事務事業名	芦安交流促進センター管理事業	所属部	農林商工部	所属課	農林振興課
-------	----------------	-----	-------	-----	-------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？ 意図が上位目的に結びついているか？	☐ 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 結びついている ⇒【理由↓】 直営で施設の管理運営を行い市民に活用されている。
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPOに委ねることは可能か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 妥当である ⇒【理由↓】 指定管理制度の導入が望ましいが、収益を目的とした施設ではないため現状では直営での管理しかないと思われる。
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 適切である ⇒【理由↓】 市民を対象とし地域の活性化を図ることを目的とした施設であるため。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 事務事業のやり方・進め方を変えることで成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	☐ 向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 向上余地がない ⇒【理由↓】 施設の設置場所が、市の中心から外れているため利用率の向上を望むのは厳しいと思われる。
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	☐ 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入！) ☐ 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☐ 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 ☒ 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	☐ 影響なし ☒ 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 ☐ 休止・廃止ができる ☒ 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 芦安地区には公民館がなく、住民の集える場所として幅広く活用されているため廃止等は出来ない。同左
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由↓】 最低限の経費で管理しているためこれ以上の削減余地なし。
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	☐ 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由↓】 施設の貸し出し業務は、芦安窓口サービスセンターで行っているが、維持管理業務は農林振興課で行っている。施設のトラブル等の対応確認・修繕を行うのに本庁の小笠原から芦安まで時間とガソリンを掛けて対応しているので効率が悪い。
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 公平・公正である ⇒【理由↓】 施設使用料を徴収しているため、公平である。

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ③ 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	適切な維持管理を行い市民に活用されている施設であるが、維持管理を行う所管課がH21年度に農林振興課に移って管理を行っているが、効率が悪いので見直し必要がある。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可		(3) 改革・改善による方向性																						
☐ 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ 事業統合・連携(有効性⑤の結果) ☐ 公平性改善(公平性⑨の結果) ☐ 休止(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ 成果向上(有効性④の結果) ☒ 現状維持(全評価項目で適切) ☐ 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)		<table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト水準</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果水準</th><th>向上</th><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr><tr><th>維持</th><td>☐</td><td>☒</td><td></td></tr><tr><th>低下</th><td>☐</td><td></td><td></td></tr></table>				コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	☐	☐	☐	維持	☐	☒		低下	☐		
		コスト水準																						
		削減	維持	増加																				
成果水準	向上	☐	☐	☐																				
	維持	☐	☒																					
	低下	☐																						
(2) 改革改善案について		※ 廃止・休止の場合は記入不要																						
①地域の施設なので貸し出し業務を行っている所で維持管理を行うことが、市民の利便性も向上する。 ② ③		(5) 事務事業優先度評価結果																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策 ①施設の所管替えを行う。 ② ③		成果優先度評価結果	⑫																					
		コスト削減優先度評価結果	⑥																					